

JA長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター
がん相談支援センター 広報誌

こすもす

2021.1

Vol.3



Contents

- AYA世代のがんについて特集2
- AYA世代がん患者の妊よう性温存について
- 長野県がん生殖ネットワークについて
- 就労相談
- インフォメーション

AYA世代がん特集 第2弾 ～妊孕性(にんようせい)の温存～

【AYA世代のがんのこと】

「AYA (アヤ)」とは、Adolescent and Young Adult の頭文字をとった略語で、およそ15歳から39歳までの思春期・若年成人のことをさします。年間約2.8万人のAYA世代の若者が、新たにがん罹患し、過酷な現実と向き合っています。この年代での「がん」の診断は、その人の人生を大きく揺るがします。まずは、AYA世代のがんの実態を知っていただくことが、がん罹患した若者の支援につながります。

～全国AYAがん支援チームネットワーク～

【AYA世代がん患者の悩み】

AYA世代がん患者の悩みは不妊治療や生殖機能についてが上位を占めています。(図1) また、治療中のがん患者に比べがん経験者の方が不妊治療や生殖機能に関する問題を抱えていることがわかります。(図2)

【妊孕性の温存のこと】

妊孕性は、「妊娠する力」を意味し、女性にも男性にも関わることです。妊娠するためには卵子と精子が必要となり、卵巣、子宮、精巣などが重要な役割を果たしています。がんの治療では、それらの妊娠に関わる臓器にがんができた場合だけでなく、一見妊娠と関係のないような臓器にがんができた場合でも、生殖機能に影響してしまい、妊娠するための力が弱まったり、失われたりすることがあります。

AYA世代がん患者、がん経験者、健康AYAの悩み 上位5項目

【図1】

順位	治療中のがん患者 (n=207)	がん経験者 (n=136)	健康AYA (n=200)
1	今後の自分の将来のこと	今後の将来のこと	今後の自分の将来のこと
2	仕事のこと	不妊治療や生殖機能に関する問題	仕事のこと
3	経済的なこと	仕事のこと	経済的なこと
4	診断・治療のこと	後遺症・合併症のこと	健康のこと
5	不妊治療や生殖機能に関する問題	体力の維持・または運動すること	学業のこと

がんを経験したAYA世代の年代別の悩み

【図2】

順位	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～39歳
1	自分の将来	自分の将来	自分の将来	自分の将来
2	後遺症・合併症	仕事	仕事	仕事
3	体力の維持または運動	不妊治療や生殖機能	不妊治療や生殖機能	家族の将来
4	学業	経済的なこと	診断・治療	経済的なこと
5	不妊治療や生殖機能	後遺症・合併症	後遺症・合併症	不妊治療や生殖機能

平成27～29年厚生労働科学研究「総合的な思春期・若年成(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」調査より

* AYA世代は15～39歳と定義

* 「がん患者」は調査時に医療機関においてがん治療中もしくはがん治療を終了して1年以内の人、「がん経験者」はがん治療を終了して1年以上が経過した人、「健康AYA」はがん罹患経験のない人

「情報提供はスピーディーに…」 「患者さん、その家族への配慮は十分に…」

がんと診断され、治療の選択をするタイミングで、治療後の生殖機能に関する情報提供が必要となる場合があります。しかし、患者さんとご家族は妊孕性の温存について考える余裕がないことがあります。

妊孕性の温存を意識しすぎるあまり、がん治療が適切に受けられなかったり、遅れたりすることは望ましいことではありません。

将来子どもをもつことについて考えるためには、担当医に気持ちを伝え、「がんの治療によって妊孕性にどのような影響があるのか」や「がんの治療後の見通し」を確認する必要があります。その上で、妊孕性温存を検討する場合は、生殖医療を専門とする医師（産婦人科あるいは泌尿器科）の診察を受ける必要があります。

治療前に精子を凍結保存。
放射線治療中の精巣を保護することも。



子どもをもたない選択や特別養子縁組を選択する人もいます。



治療前に卵子や卵巣の凍結保存。
放射線治療中の卵巣を保護することも。



このような書籍や冊子も参考にしてください!!

昨年、長野県がん診療連携協議会情報連携部会が作成したがん診療開始前に手に取ってほしい冊子です。

凍結保存をすること自体に高額な費用がかかり、さらに保存している期間も毎年費用が発生します。また、保存のための更新手続きもあるなど経済的な負担の他にも様々な負担があるようです。

～長野県の生殖医療の現状～



がんに対する治療の進歩によって、多くの患者さんが病気を克服できるようになっています。しかし、治療の内容によっては、卵巣や精巣などが影響を受け妊よう性（妊娠するための力）が低下し、がん克服後に妊娠が困難になることがあります。近年そのような患者さんに、がん治療開始前に精子や卵子、受精卵、卵巣そのものを凍結保存する妊よう性温存療法を行なうことで、がんを克服した後も妊娠の可能性を残しておくことができるようになってきました。「長野県がん生殖ネットワーク」は県内のがん治療医、生殖医療医が連携し、将来子供を持つことを希望するがん患者さんに、妊よう性温存に関する適切な情報を提供し、希望された場合にがん治療を遅らせることなく妊よう性温存療法を行なうことを目的に設立されました。がん治療の先生方、がん治療のために、妊よう性を失う可能性のある患者さんを担当したら、是非「妊よう性温存療法の希望があるかどうか」をお尋ねください。患者さんが希望をもってがん治療に取り組むことができるように、ネットワークを活用していただければと思います。

信州大学医学部 産婦人科 時光 亜希子 医師

「当院での妊よう性温存医療の取り組み」

政府が小児・若年がん患者の方が将来的に子どもを持つ選択肢を残せるようにする（妊よう性を温存）ために、精子や卵子を凍結保存する費用を助成する制度の新設する方針としたことが大きなニュースになりました。若年がん患者の方にとっては、がん治療はとても大切な問題ですが、それと同じくらい妊よう性の温存も大切な問題です。後でやり直すことができないため、必要なときに迅速に適切な医療が受けられるように支援する体制づくりが求められています。長野県全体で連携体制の構築が始まっており、当院でも、適切な支援ができるように関係医療機関と連携を取って行きます。また、がん相談支援センターの職員だけでなく、一般の医療関係者や一般市民の方を対象として、妊よう性温存についての勉強会も行っており、継続していく予定です。



佐久医療センター 腫瘍内科 長瀬 通隆 医師

【AYA世代がん患者サポートチーム】

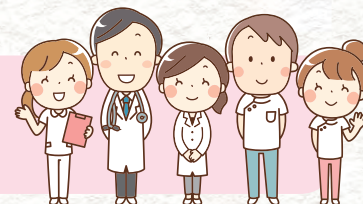
2019年6月から、AYA世代がん患者サポートチームが発足しました。

（構成メンバー：腫瘍内科医師・乳がん看護認定看護師・がん化学療法看護認定看護師・緩和ケア認定看護師・MSW）

月に1回の定例会議で情報交換、事例検討を開催、講演会の開催協力など行っています。AYAがん患者サポートについてのご相談などありましたら「がん相談支援センター」までご連絡ください。



AYAがん患者さんのご相談は
がん相談支援センターまで



詳しくはこちらのサイトで検索して下さい

特定非営利活動法人 日本がん・生殖医療学会 <http://www.j-sfp.org/>
小児・若年がんと妊娠 <http://www.j-sfp.org/ped/>
夫婦で向き合う若年乳がん <http://www.j-sfp.org/o-peace/index.html>

がんサロン「もくらん」

国内で拡大している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染対策のため、**がんサロン「もくらん」の開催を当面中止といたします。**

再開につきましては、改めて病院ホームページや院内掲示などにてお知らせいたします。何卒、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

～インフォメーション～

- Zoom開催「佐久がん基礎講座」
2月10日（水） 予防できるがん
「喫煙と禁煙」 内分泌内科 堀込 充章
「子宮頸がんとワクチン」 産婦人科 小口 治
3月10日（水） HBOC
遺伝看護専門看護師 中村 由唯
- You Tube 配信 市民公開講座（配信中）
「高齢者が気をつけたいお薬の話」
YouTube がん専門薬剤師 三浦 篤史

ママのバレッタ 絵本原画展



ママのバレッタ 絵本原画展を開催します。

日時 2021年2月22日（月）～3月5日（金） 8時30分～17時00分

場所 佐久医療センター ふれあいギャラリー

（お問い合わせ：佐久医療センターがん相談支援センター 0267-88-7184）

abn信州がんプロジェクト <https://www.abn-tv.co.jp/project-gan/>

一般社団法人がんサバイバーが制作した絵本

ママのバレッタ を知っていますか。

子どもをもつがん患者のSNSコミュニティであるがんサバイバーは2016年4月に胆道がんサバイバーである西口洋平氏によって設立されました。この絵本は、「子どもをもつがん患者だからこそつくれる絵本がある」と会員により第1弾が制作されました。抗がん剤の治療で髪の毛が抜けてしまったママを娘の視点からユーモアを交えて描いた絵本です。

ぜひ一度、お読みください。

就労相談会 ～治療と仕事の両立に関する様々な困りごと～



社会保険労務士による相談会

労務・社会保険の専門家である社会保険労務士が、休職制度や医療保険・年金制度、労働者の権利などについて相談に応じます。

ハローワーク長野による就職相談会

ハローワーク長野の就労支援ナビゲーターが、能力や適性、病状や治療状況を考慮して、新たな就職を支援します。

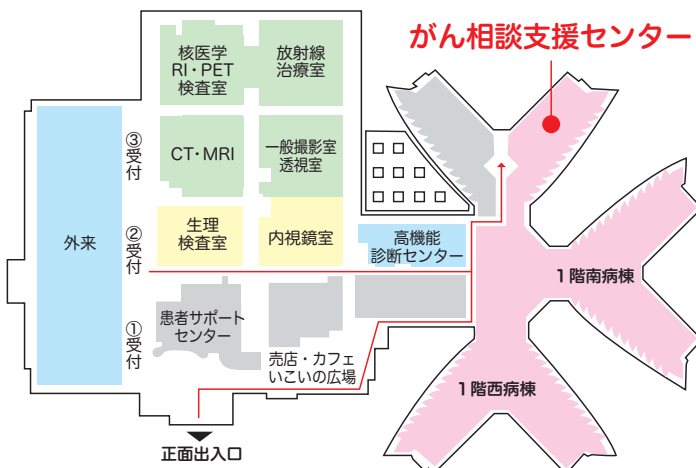
治療と仕事の両立支援相談会

長野産業保健総合支援センターの両立支援促進員が治療と仕事の両立を支援します。また、ご希望により勤務されている会社を訪問し、治療と仕事の両立が可能な職場づくりのアドバイスを行います。

ご相談・お問い合わせはがん相談支援センターまで

相談無料
要予約

佐久医療センター 1階平面図



編集後記

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が国内・長野県内で感染再拡大を起している中、第3号が無事発行されました。これからも、皆様のお役にたつ広報誌にしていきたいと思っています。

新年が、皆様にとってよりよい年でありますように。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



JA長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター

がん相談支援センター

☎0267-88-7184